

Q1 道路網の整備について

道路網の整備

問 町長は、3月の施政方針の中で、道路網の整備の重要性を述べている。そこで、次のことを伺うとともに、道路網の整備を八百津町のまちづくりのように生かして行くのか伺う。

- 1 (仮称)伊岐津志トンネルの開通時期と、八百津市街及び国道418号線へのアクセス道路の想定について
- 2 県道中野方七宗線の福地から篠原間の改良工事の見直しと今後の取り組みについて
- 3 新丸山ダム関連の五月橋架け替え工事に伴う、町道十日神楽線の道路整備の見直しについて

答 (藤掛建設課長)

(仮称)伊岐津志トンネルの開通時期について、岐阜県は平成29年3月末の供用開始を目標に現在工事を進めています。工事の進捗状況によっては供用開始時期が早まることも聞いています。町からもできる限り早い供用開始を要望しています。八百津市街及び国道418号へのアクセス道路の想定については、

交通の流れを考えると御嵩町方面からトンネルを通ってきた車両はトンネルを出たところの交差点を右折し、県道多治見・白川線を通り八百津橋を渡って八百津市街地へ入るルートとトンネルから出たところの交差点を直進し町道伊岐津志・野上線を通り稲葉橋を渡って清水屋の交差点から国道418号や県道野上・古井線へ接続するルートを想定しています。町道伊岐津志・野上線は交通量の増加に伴い、舗装の打ち替え工事や橋の補修工事などを計画しています。その他にも危険箇所交通安全対策工事を行っていく予定です。

二つ目の「県道中野方七宗線の福地から篠原間の改良工事の見直しと今後の取り組みについて」は、ご質問の区間の約4kmは山間部を通る道路で、道路幅員が狭く、通行車両がすれ違いに苦労していることは認識しています。現在までに岐阜県の施工により拡幅改良工事が行われ、すれ違いができる区間もありますが、未だに幅員が狭小な区間があることも否めません。町から岐阜県に対してこの区間の拡幅改良工事を要望しています。近年は、県道中野方七宗線の福地内の島峠から才勝橋付近の拡幅改良工事や、篠原地内の待避所設置工事、また県道篠原・八百津線の潮見本郷や中地内の拡幅改良工事を優先して県は施

工しています。ご質問の路線沿いには「いろいろり村」構想や見行山整備事業が行われています。今後は、地域の自治会や道路委員会と協議のうえ、県へ要望していきたいと思えます。

三つ目の「新丸山ダム関連の五月橋架け替え工事に伴う町道十日神楽線の道路整備の見直しについて」ですが、五月橋は、新丸山ダム建設工事に伴い国土交通省が架け替え工事を計画しています。現在、新しい五月橋について、予備設計が終わっている段階だとの回答を国土交通省から聞いています。予備設計ですので大体の位置や高さは決まっていますが、詳細な測量と設計の段階で変更される可能性は否定できないとお考え下さい。橋の道路幅員は5mで自動車の通行が可能となります。これに伴い架け替え工事のための工事用道路として、町道十日神楽線を利用する計画です。十日神楽集落から五月橋までの約3km区間は、ほとんどの区間で道路幅員が狭いため国土交通省が道路改良工事をを行う予定です。今後は、新しい五月橋までの道路ルートについて国土交通省と町の間で協議をしながら、経済性や安全性を考慮して早期着工、早期完成を強く要望して参ります。

答 (金子町長)

地方自治体の役割には必ず一貫した主旨が存在していな

ければなりません。それは「住民が安心して暮らせる住環境を整え、半永久的に続く幸せと豊かさで満ち足りた日常を形成する」こととされています。

この目的を達成するため様々な施策を展開しています。その施策の一つとして道路網の整備があります。当町にとりまして道路は、町民にとって通勤通学や経済活動そして生活するためには欠かせないものです。また、当町の高齢化率は36・17%と高く、高齢者の皆様が安全で安心して暮らすには、使いやすい道路でなければなりません。危険箇所の改良や道路設備を充実、さらに買い物や通院などの移動手段の確保や生活困難者への支援など様々な事業を展開する環境を整えることにより、住民の福祉向上に貢献することもできるものと考えています

今後もし引き続き町の道路網の整備につきましましては、国や県に対し粘り強く要望して参りたいと考えています

八百津町のまちづくりには、道路網の整備を含め杉原記念館や人道の丘公園、新丸山ダム建設事業、次世代エネルギー事業など様々な施策があります

こうした施策を通して八百津町のまちづくりを、町民の皆様と一緒に進めて参りたいと思っています。

Q2 町政座談会の開催について

町政座談会



問 金子町長新体制となった今、「町政座談会」を開催し、町民の皆さんと直接対話と情報交換を通じて、地区の課題と今後の八百津町のまちづくりに反映させるべきと思うが、町長の見解を伺う。

答 (金子町長)

私は、町民の皆さんとの対話を大切にしたい町政の推進に常に心がけているところです。

町長就任以来、皆様から会議や総会並びに懇談会へお招きをいただき、現時点で34の会場へ出席をしています。今後も積極的に参加したいと考えています。

そして、出席した会場では、町政全般について、また予算関連の話を行い、町民の皆様と直接の対話を心がけています。その対話の中から様々な問題提起や